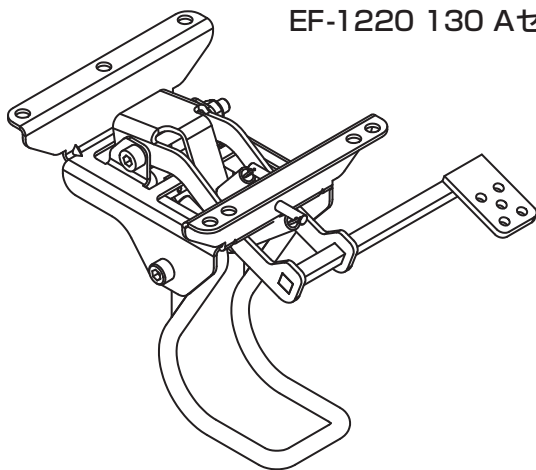


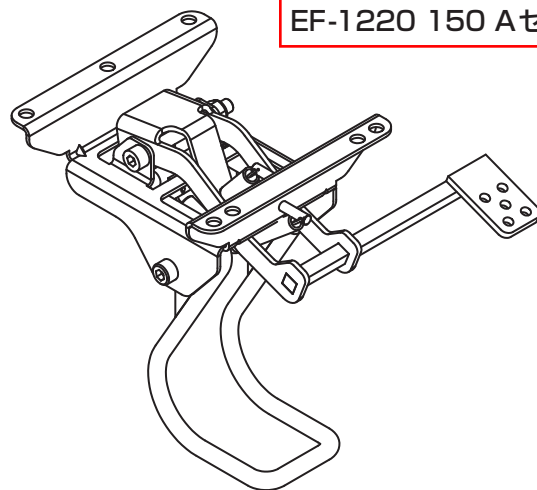
フットスタンド

台車に取り付けることで、静止状態を維持することができます。

EF-1220 130 Aセット

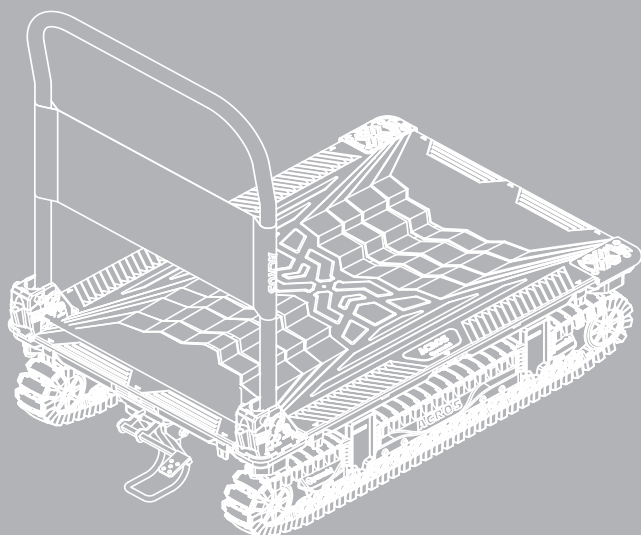
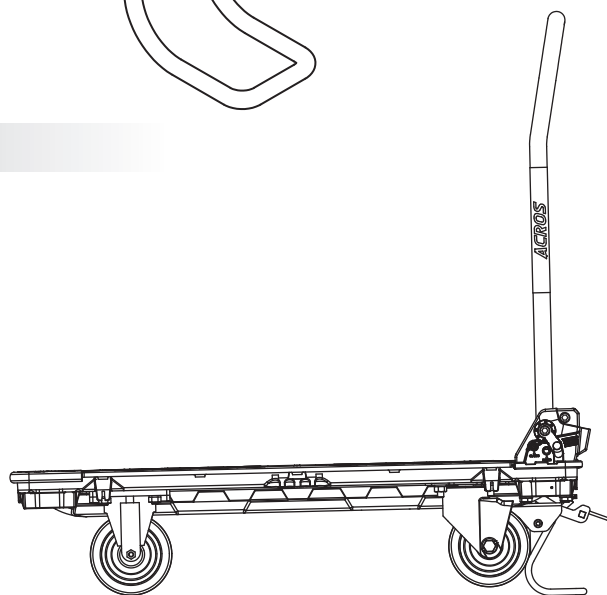


EF-1220 150 Aセット



CONTENTS

1. 安全上のご注意
2. 仕様
3. 部品表
4. 取付方法
5. ご使用方法
6. お手入れ方法



取扱説明書

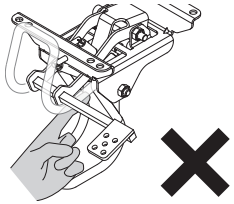
フットスタンドを長く安全にご使用いただくために、
本取扱説明書を必ずお読みになり大切に保管してください。

取り付けるアクロスの取扱説明書と合わせてご覧ください。

1. 安全上のご注意

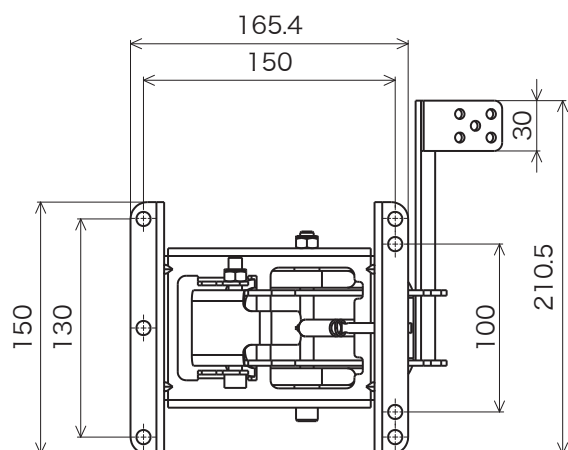
！安全に関する表示 いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 警告	誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。
 注意	誤った使用をされた場合、「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。
 禁止	してはいけない「禁止」内容です。
 必ず守る	必ず守っていただく「強制」内容です。

 警告	
 禁止	● 本来の使用目的以外の用途では使用しない。 事故やケガの原因になります。
	● 製品の改造・加工は絶対に行わない。 改造・加工した製品の強度や安全は保証できません。
	● 他社製品に取り付けない。 他社製品に取り付けた製品の強度や安全は保証できません。
	● 走行中に操作をしない。 フットスタンドは静止状態を維持するための製品です。必ず台車を停止させてから操作してください。
	● 水平方向に力を加えない。 製品の破損やケガの原因になります。 
 必ず守る	● 可動部へ手や指などを入れない。 挟んでケガをする原因になります。 
	● フットスタンドをアクロス C (SC-9060 CA) に取り付けるときは、自由車側に取り付ける。 固定車側に取り付けた場合、フットスタンドが軸となり、自由車が動いて台車が旋回し大変危険です。 必ず自由車側に取り付けてください。 (取付方法は P4-5 「4. 取付方法」をご確認ください)
	● フットスタンドは対応する機種へ取り付ける。 異なる機種に取り付けると、ロックができなかったり、ロックをしたときに安定しない場合があります。 (対応するアクロスは P3 「2. 仕様」をご確認ください) ● フットスタンドがアクロスに確実に取り付けられていることを確認してから使用する。 締付けが不十分な場合、外れの原因になります。また、過度の締付けは破損の原因になります。 六角ボルト (M8×15) で締め付けてください。(締付けトルク：10.4 ～ 12.5N・m) (取付方法は P4-6 「4. 取付方法」をご確認ください)

 注意	
 禁止	● 床面の材質によっては、キズをつけるおそれがあるので注意する。 キズをつけたくない床面ではご使用を避けてください。
	● 弾力のある床面で使用しない。 製品の破損やケガの原因になります。
 必ず守る	● 操作するときは必ず靴を履いて行う。 ケガの原因になります。
	● 取付け後、ガタつき・ボルトのゆるみ・締め忘れ・その他異常がないことを必ず確認する。

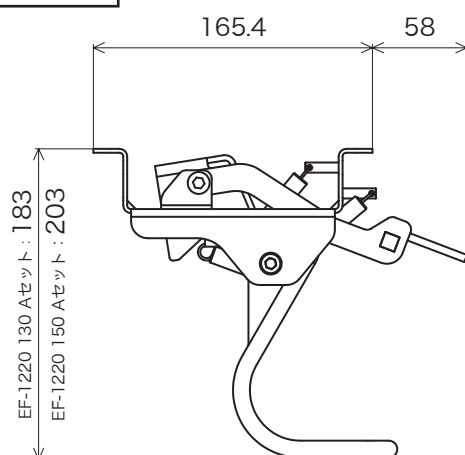
2. 仕様



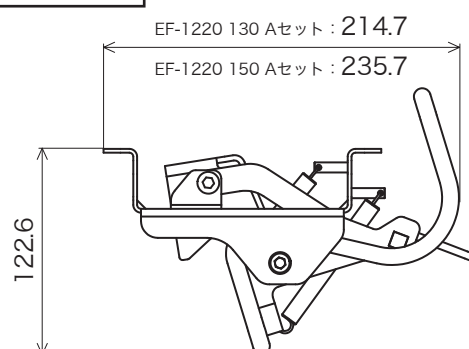
▶ 対応するアクロス

フットスタンド	品名 (品番)
EF-1220 130 Aセット	アクロス C キャスタータイプ (SC-9060 CA)
EF-1220 150 Aセット	アクロス A クローラタイプ (SC-9060 AX)

ロック時

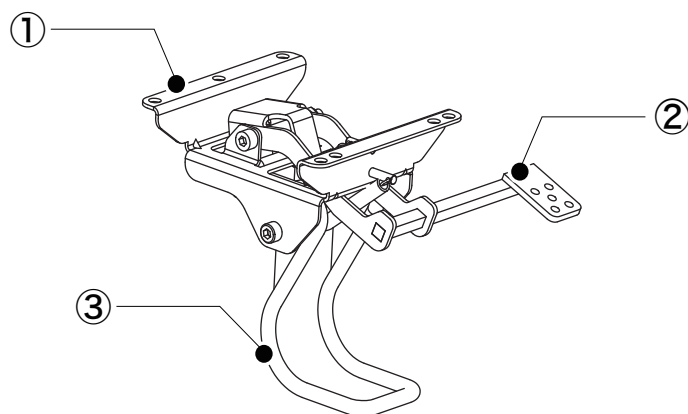


ロック解除時



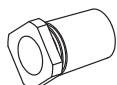
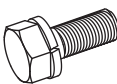
単位 : mm

3. 部品表



品名	品番	材質
① ベース板	EF-1220A	スチール
② 解除レバー	EF-1220B	スチール
③ 乙金具	EF-1220 130 Aセット : EF-1220C130 EF-1220 150 Aセット : EF-1220C150	ステンレス

付属品

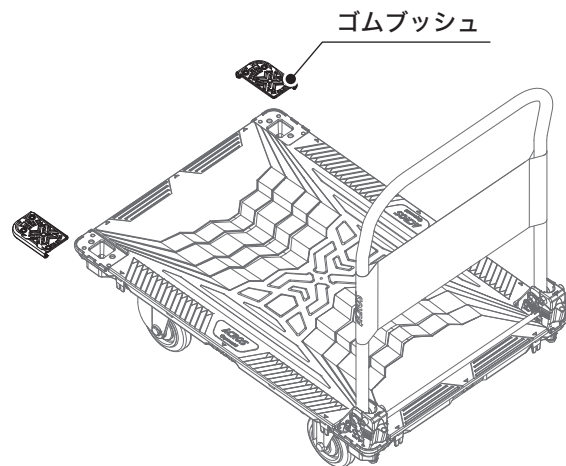
部品図	品名	材質	数量
	インサートナット	真鍮	4
	座金組込み六角ボルト (M8×15)	スチール	4

4. 取付方法

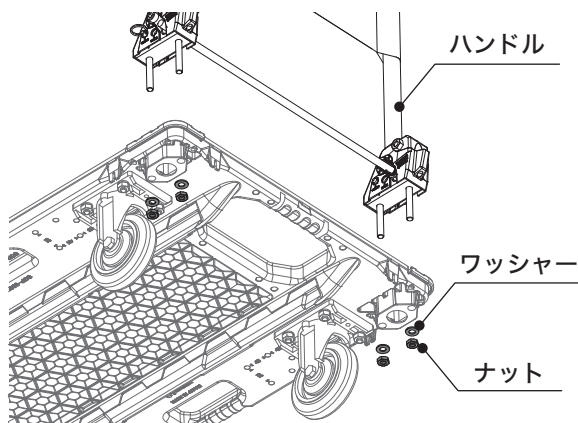
▶ 「アクロス C (SC-9060 CA)」 へ 「フットスタンド (EF-1220 130 Aセット)」 の取付け (本製品をアクロス C に取り付ける場合、前輪を固定車、後輪を自由車に変更する必要があります)

※ 手順 1、手順 5 はハンドル側が固定車の場合のみ必要な作業です。

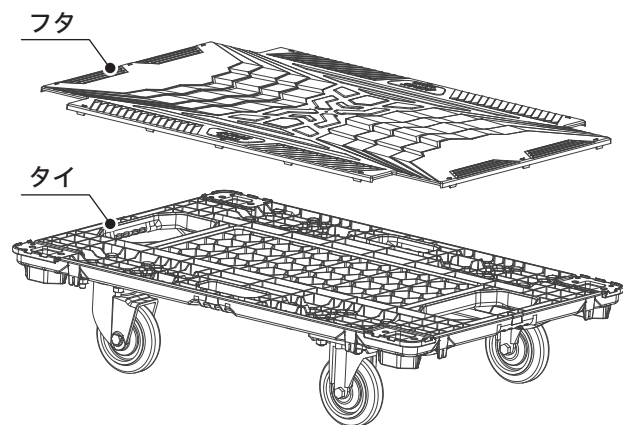
手順 1 アクロス本体からゴムブッシュ・ハンドルを外します。



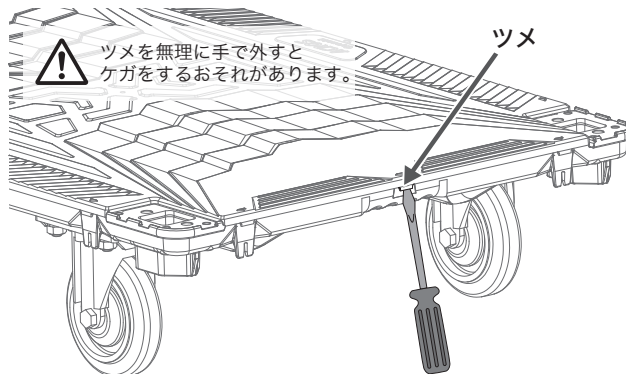
裏側からナット (M10) とワッシャー (M10) を外して、ハンドルを取り外します。



手順 2 タイからフタを外します。

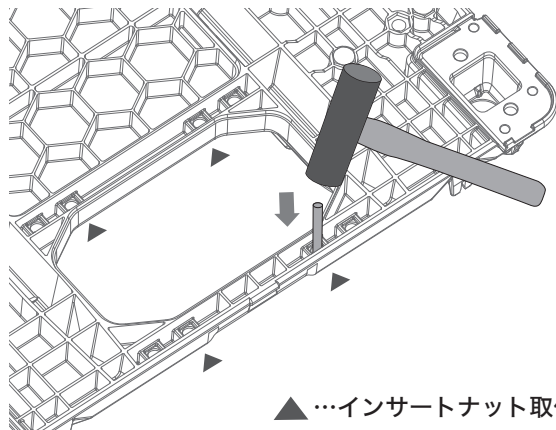


フタの側面にあるツメ (16カ所) のすき間に、マイナスドライバーを差し込んでタイからツメを外し、フタを外してください。

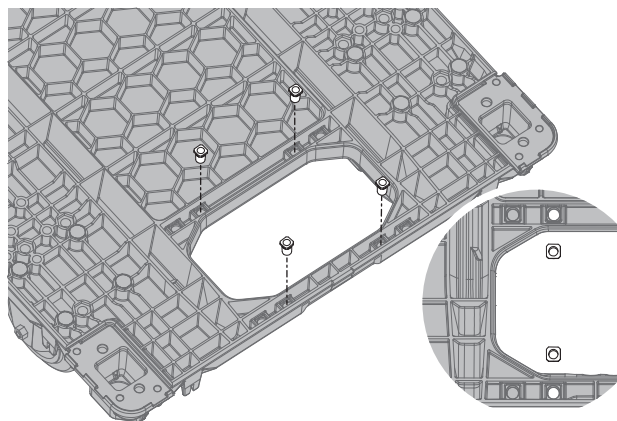


手順 3 タイのインサートナット取付穴を打ち抜き、インサートナットを自由車側に取り付けます。

① インサートナット取付位置に金属棒などをタイの上から差し込み、ハンマーで打ち抜いてください。

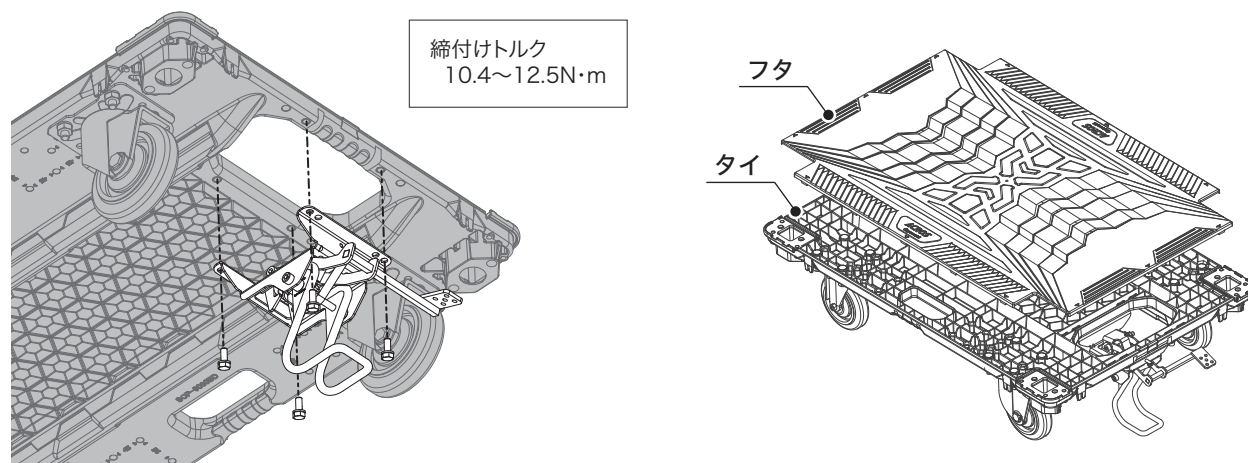


② インサートナットをタイの四角形の溝に向きを合わせて取り付けてください。



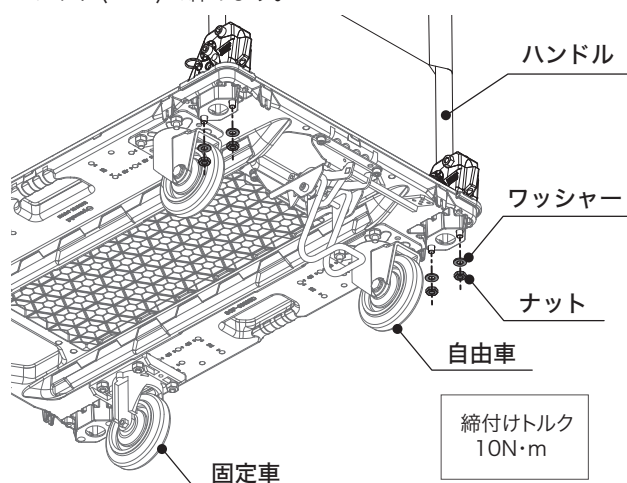
4. 取付方法

手順 4 フットスタンドをタイの裏側からあて、座金組込み六角ボルト (M8×15) で固定し、フタをはめます。

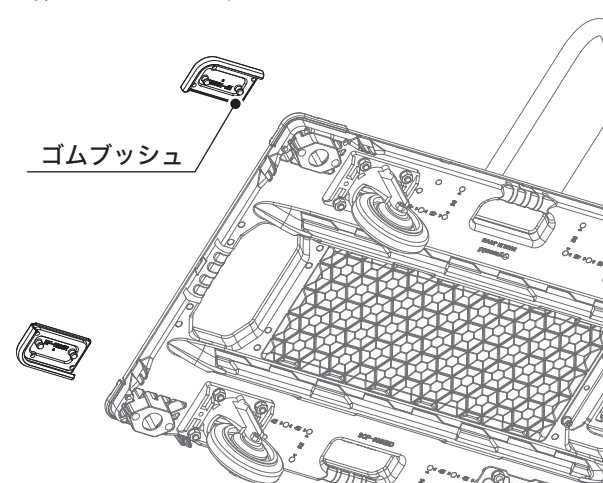


手順 5 ハンドル・ゴムブッシュを取り付けます。

①ハンドルを差し込み、裏側からワッシャー (M10) とナット (M10) で締めます。



②ゴムブッシュの突起をタイの穴にはめ込むように押し込んでください。



⚠ 警告



必ず守る

- フットスタンドをアクロス C (SC-9060 CA) に取り付けるときは、自由車側に取り付ける。固定車側に取り付けた場合、フットスタンドが軸となり、自由車が動いて台車が旋回し大変危険です。必ず自由車側に取り付けてください。

⚠ 注意



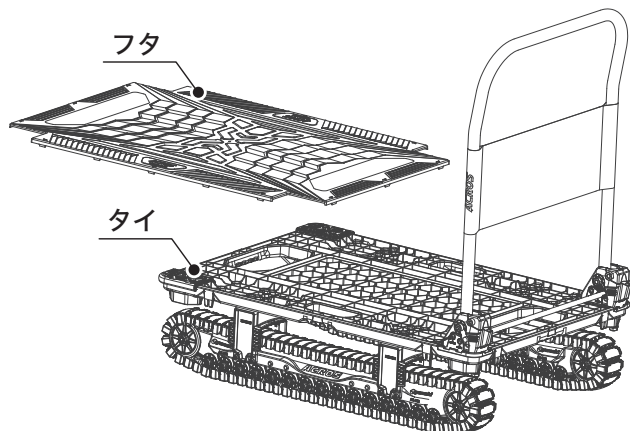
必ず守る

- フタを外す際は、無理な力を加えるとツメが破損するおそれがあるので注意する。

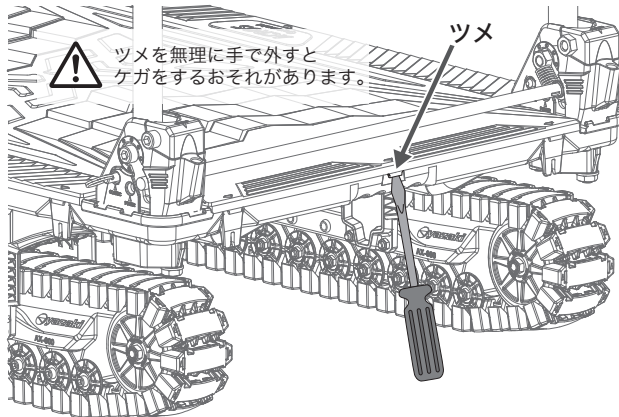
4. 取付方法

▶ 「アクロス A (SC-9060 AX)」 へ 「フットスタンド (EF-1220 150 Aセット)」 の取付け

手順 1 タイからフタを外します。

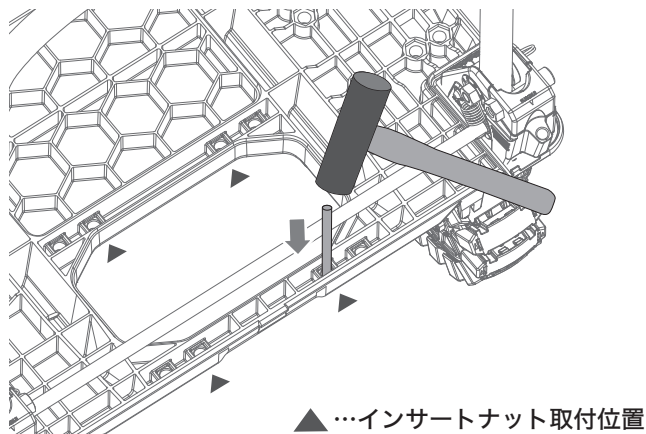


フタの側面にあるツメ (16カ所) のすき間に、マイナスドライバーを差し込んでタイからツメを外し、フタを外してください。

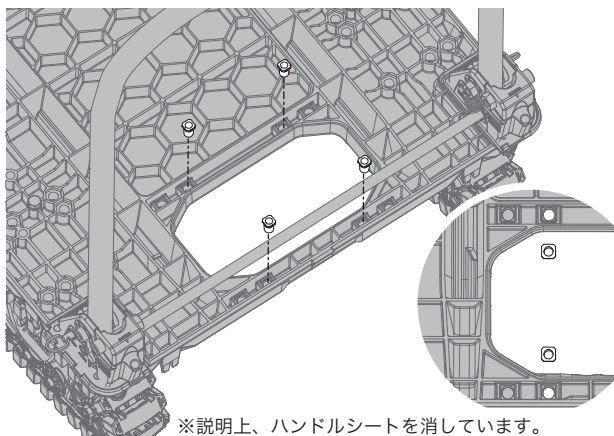


手順 2 タイのインサートナット取付穴を打ち抜き、インサートナットを取り付けます。

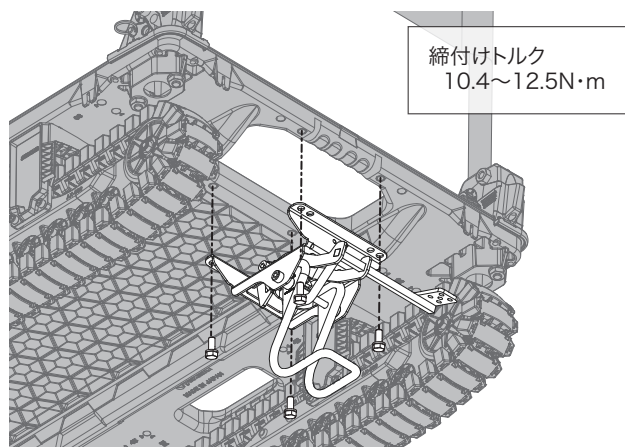
①インサートナット取付位置に金属棒などをタイの上から差し込み、ハンマーで打ち抜いてください。



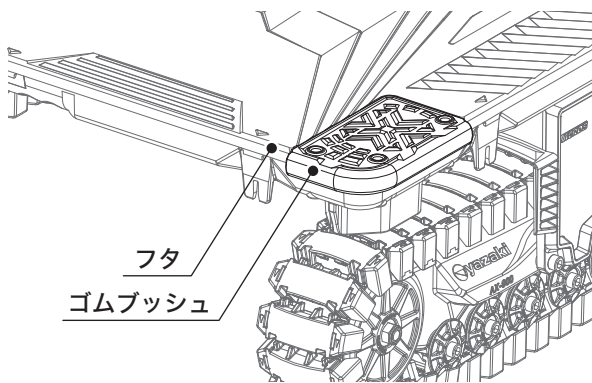
②インサートナットをタイの四角形の溝に向きを合わせて取り付けてください。



手順 3 フットスタンドをタイの裏側からあて、座金組込み六角ボルト (M8×15) で固定し、フタをはめます。



フタをはめる際は、ゴムブッシュがフタの上になるように、フタをゴムブッシュの下にはめこんでください。



⚠ 注意



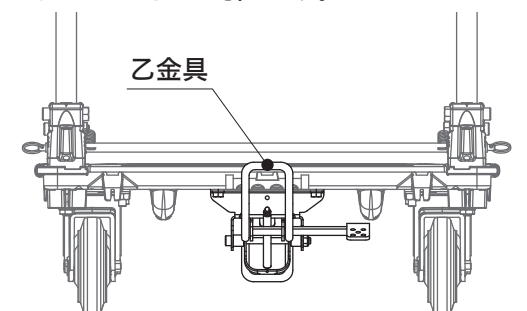
必ず守る

- フタを外す際は、無理な力を加えるとツメが破損するおそれがあるので注意する。

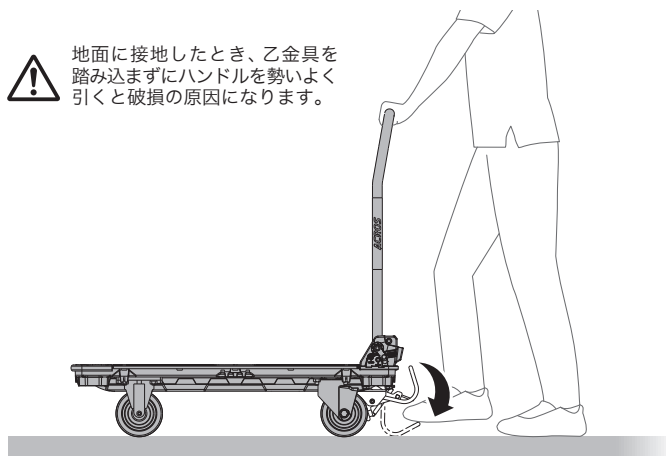
5. ご使用方法

▶フットスタンドをロックする

ハンドルを手でつかんで足で乙金具を踏み、金具が地面に接地したらそのまま踏み込みながらハンドルを引きます。

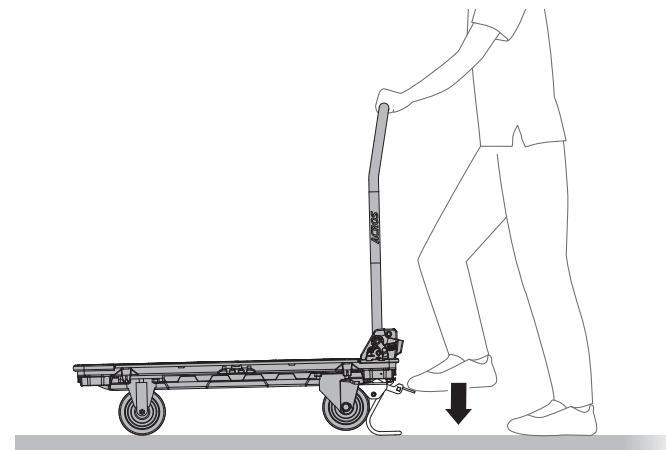
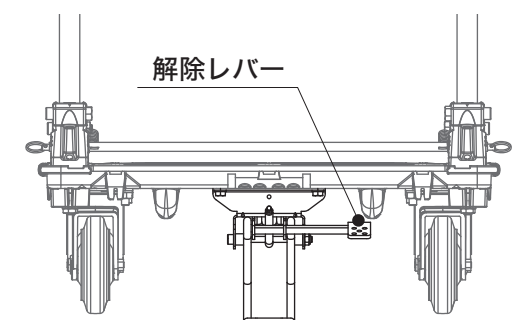


地面に接地したとき、乙金具を踏み込まずにハンドルを勢いよく引くと破損の原因になります。



▶フットスタンドのロックを解除する

ハンドルを手でつかみながら、足で解除レバーを踏みます。



⚠ 警告

 禁止	● 急斜面などの不安定な場所では使用しない。 ロックがうまくかからない原因になります。 ● 台車を運ぶ際は、フットスタンドを持って運ばない。 手を可動部にはさみ、ケガや骨折をする重大事故につながるおそれがあります。 天板部裏側の持ち手で持ち上げて運んでください。
 必ず守る	● 必ず足で操作する。 手で操作すると可動部にはさまれ、ケガをするおそれがあります。 

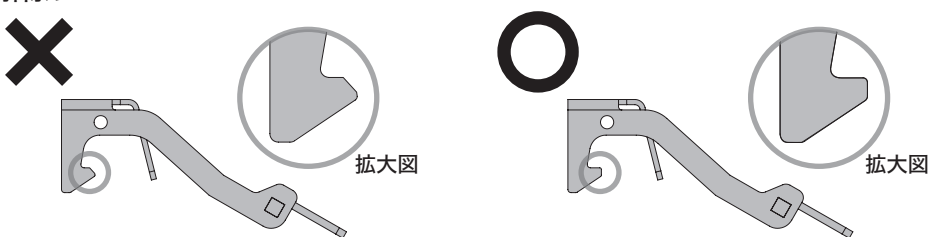
⚠ 注意

 必ず守る	● ハンドルをつかんで操作する。
	● ロックをした際は、台車が静止することを確認する。 路面によってはロックがうまくかからない場合があります。
	● 台車を移動させる際は、フットスタンドのロックを解除した状態で移動させる。
	● 定期的に点検を行う。 ガタつき・ボルトのゆるみ・破損・その他異常がないことを確認してください。
	● フットスタンドを使用する前には、必ず次の点検を行う。 ・フットスタンドの「ロック」「ロック解除」がスムーズに行えること。 ・解除レバーや乙金具の接触部が著しく摩耗・損傷していないこと。

6. お手入れ方法

▶ 日常点検

- フットスタンドの「ロック」「ロック解除」がスムーズに行えることを確認してください。
- 異常な音、動きが悪いなどの症状がないことを確認してください。
- ボルトなど各部品の紛失がないことを確認してください。
- ボルトのゆるみがないことを確認してください。
- 経年劣化などにより、解除レバーや乙金具に欠けや極端な削れなどがないことを確認してください。

⚠ 注意	
 必ず守る	● 点検時は、手や指などをはさまないように十分注意して行う。
	● 解除レバーに欠けや極端な削れ、また日常点検にて動きが悪いなどの異常がある場合は使用を中止する。 交換用パーツは別途販売しております。 異常が見られた場合はお買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください。 解除レバー 

▶ お手入れ

- 汚れた場合は水洗いして乾いた布で拭いてください。

⚠ 注意	
 禁止	● 洗浄の際は、洗剤を使用しない。また可動部にオイルの注入はしない。 洗剤などは使用せず水洗いをしてください。またオイルの注入なども避けてください。 変色・変形・強度低下の原因になります。
	● 高圧洗浄機は使用しない。 部品が破損するおそれがあります。

矢崎化工株式会社

北海道支店

〒072-0007
北海道美幌市東6条北8-2-1
TEL 0126-63-4285 FAX 0126-63-4459

仙台支店

〒981-1223
宮城県名取市下余田字中荷280
TEL 022-382-2145 FAX 022-382-1099

関東支店

〒373-0823
群馬県太田市西矢島町88
TEL 0276-38-1511 FAX 0276-38-3522

東京支店

〒359-0023
埼玉県所沢市東所沢和田1-38-3
TEL 04-2944-7111 FAX 04-2944-7007

神奈川支店

〒257-0024
神奈川県秦野市名古木3-4
TEL 0463-81-4315 FAX 0463-81-4316

静岡支店

〒422-8519
静岡県静岡市駿河区小鹿2-24-1
TEL 054-286-1101 FAX 054-286-3988

名古屋支店

〒484-0963
愛知県犬山市宇鶴池48-2
TEL 0568-67-0111 FAX 0568-67-7219

大阪支店

〒569-8551
大阪府高槻市大塚町5-1-1
TEL 072-672-8111 FAX 072-673-8822

高松支店

〒761-8058
香川県高松市勅使町227
TEL 087-866-6411 FAX 087-867-1916

広島支店

〒738-0042
広島県廿日市市地御前1-7-17
TEL 0829-36-1111 FAX 0829-36-3890

九州支店

〒820-0702
福岡県飯塚市平塚481-1
TEL 0948-72-0310 FAX 0948-72-4026

- 製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- 矢崎化工株式会社は、国際規格であるISOを認証取得しています。詳しくは弊社ホームページ (<http://www.yazaki.co.jp/>) をご覧ください。
- 「ACROS」・「アクロス」は、矢崎化工株式会社の登録商標です。

22062206

DX-014-00